

WSMGR for Webは、ブラウザのみで運用を行う端末エミュレータです。稼働状況表示機能では、端末の接続数やよく利用される業務画面を表示して、業務の利用状況が把握できます。また、オプション製品「WSMGR for Web APIサポート」では、作成したシナリオに合わせた実行画面の自動生成や、メインフレームの業務画面からWebアプリケーション用のHTML画面生成が可能となり、メインフレームのフロントのオープン化を支援します。

■ メインフレーム業務の利用状況を可視化

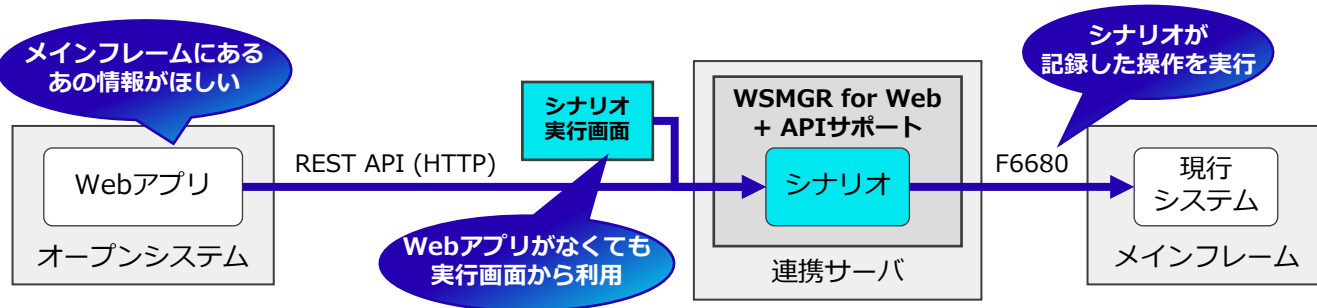
- メインフレームの利用ユーザ数やよく使われている画面など、リアルタイム・過去を可視化業務画面の使用状況を、操作改善やオープン化の優先度付けに活用

WSMGR for Webを介して
対メインフレーム/対端末の接続状態を記録



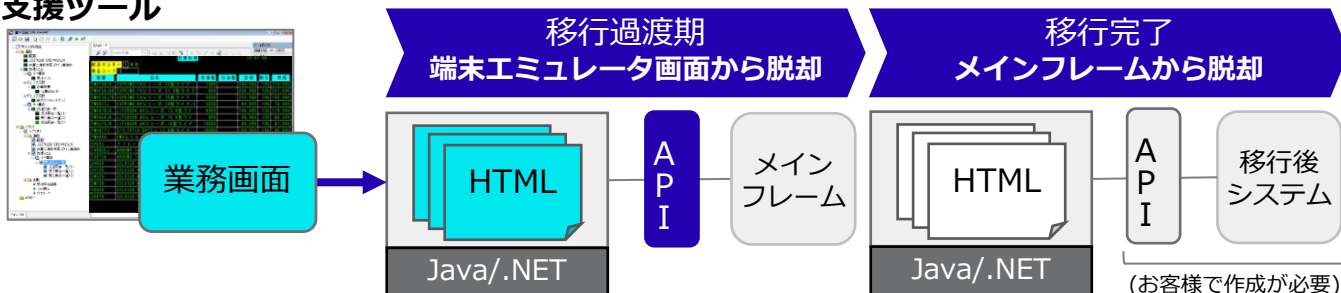
■ メインフレーム業務のフロントのオープン化を支援

- メインフレームにある必要な情報をオープンシステムからREST APIで利用
移行時はREST APIの呼び出し先を変更するだけなのでWebアプリ側への影響を最小化



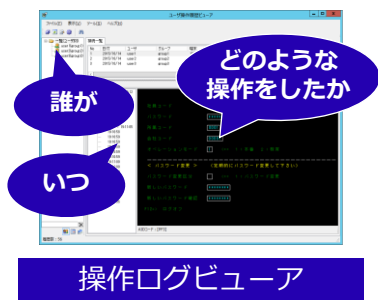
- メインフレームの業務画面を基に、Webアプリケーション用のHTML画面を生成
 - 移行過渡期はHTML画面からAPIを利用してメインフレームにアクセス
 - 移行完了後はHTML画面からお客様の移行後システムにアクセスするよう改修

支援ツール



■ メインフレーム業務のセキュリティ対策

- 操作履歴ログを記録し、過去の操作内容を画面イメージで確認
- 端末エミュレータの画面表示・入力操作をリアルタイムに監視し、監視対象の操作が行われた場合はログに記録して強制終了させるなど不正な操作を防止



■ リモート・モバイル環境からメインフレームにアクセス

- 仮想PC環境(VDI)に対応。用途に合わせてActiveXモード / HTMLモードで運用可能です。
- ブラウザのみで動作するHTMLモードにより、スマートデバイスも利用できます。

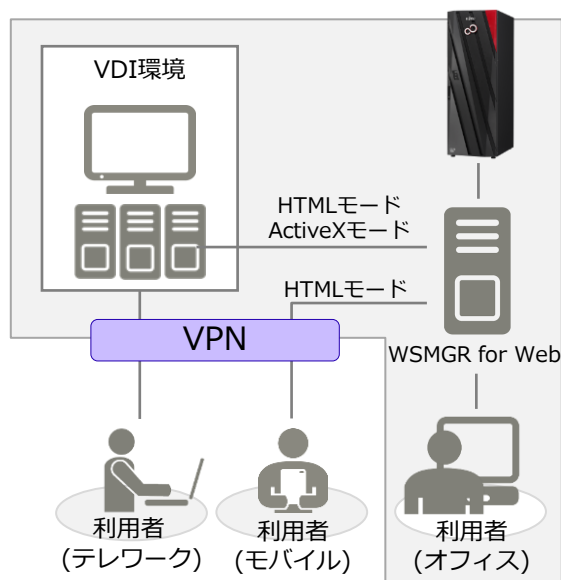
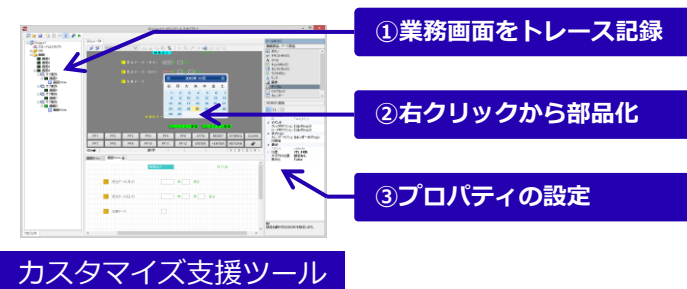
- ActiveXモード [6680/3270]

ActiveXにより従来のエミュレータが動作するモード

- HTMLモード [6680/3270]

HTMLベースでエミュレータが動作するモード

同梱のカスタマイズ支援ツールでGUIで操作性改善



ぜひ一度、デモンストレーションをご覧ください。※デモンストレーションは、お客様先でも可能です。

■ 製品体系

製品名	製品種別	機能概要
WSMGR for Web(月額) V9.6	本体製品	WSMGR for Web(ワークステーションマネージャー フォー ウェブ) は、PCをホストコンピュータと接続し、各種連携業務を行うためのサーバ導入型エミュレータソフトウェアです。
WSMGR for Web APIサポート(月額) V9.6	オプション製品	WSMGR for Web に追加インストールすることで、メインフレームと接続し各種連携業務を行うためのインタフェースを提供するソフトウェアです。
WSMGR for Web LBPサポート(月額) V9.6	オプション製品	WSMGR for Web に追加インストールすることで、オーバーレイ印刷/各種印刷指定をメインフレームから行うことができます。

■ 関連サービス

■ WSMGR for Web導入支援サービス

No	サービス名	サービス内容
1	導入教育	導入前、または導入中に対象ソフトウェア製品のご説明や画面カスタマイズの方法のご説明を、お客様ご指定場所にて実施いたします。
2	画面カスタマイズ	Web やスマートデバイス向けに画面をカスタマイズする場合、お客様作業を支援 (サンプル提供) 、または作業代行いたします。
3	テクニカルデスク	サービスの期間中、対象のソフトウェア製品に関するご質問・ご相談(仕様、利用方法、運用環境など)を受け付け、回答いたします。

さらに詳しいご説明はこちらから <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/applications/applications/wsmgrweb/>